

(仮称) 小平市第四次長期総合計画 12年後にめざすまちの姿 (将来像) の検討

これまでの
まちの
将来像

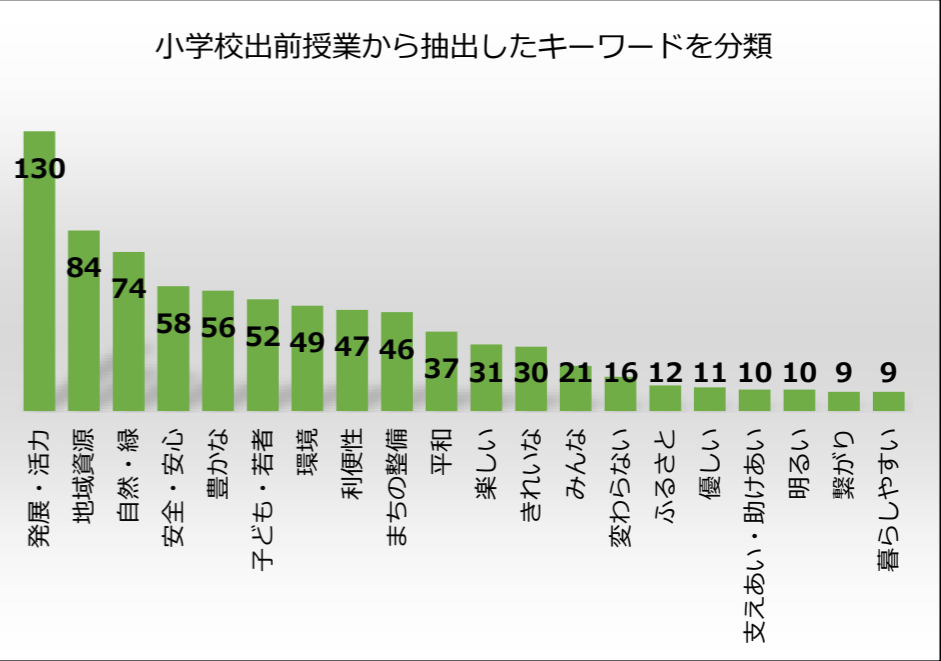
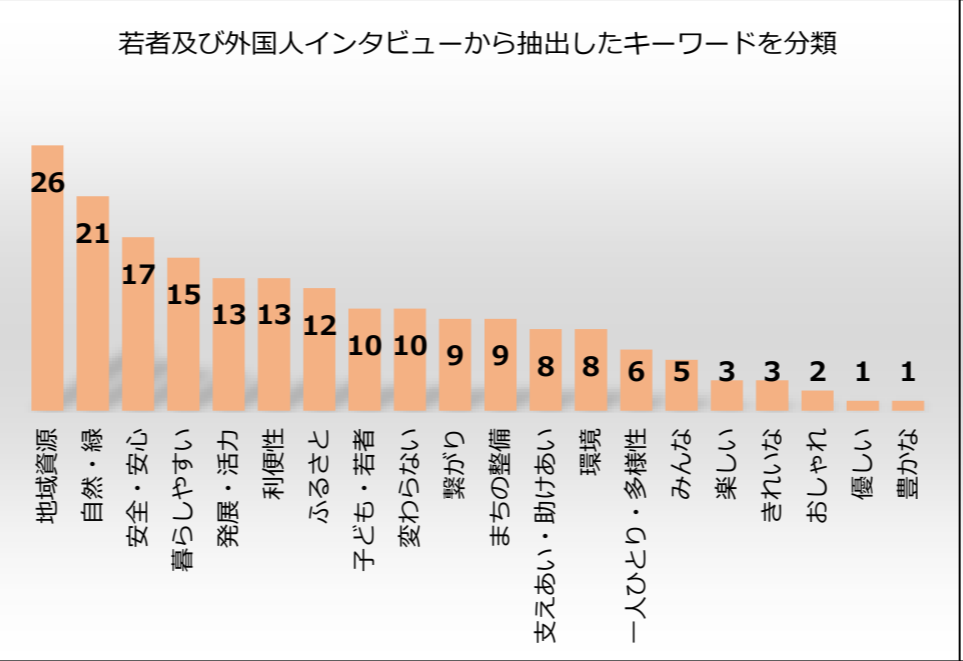
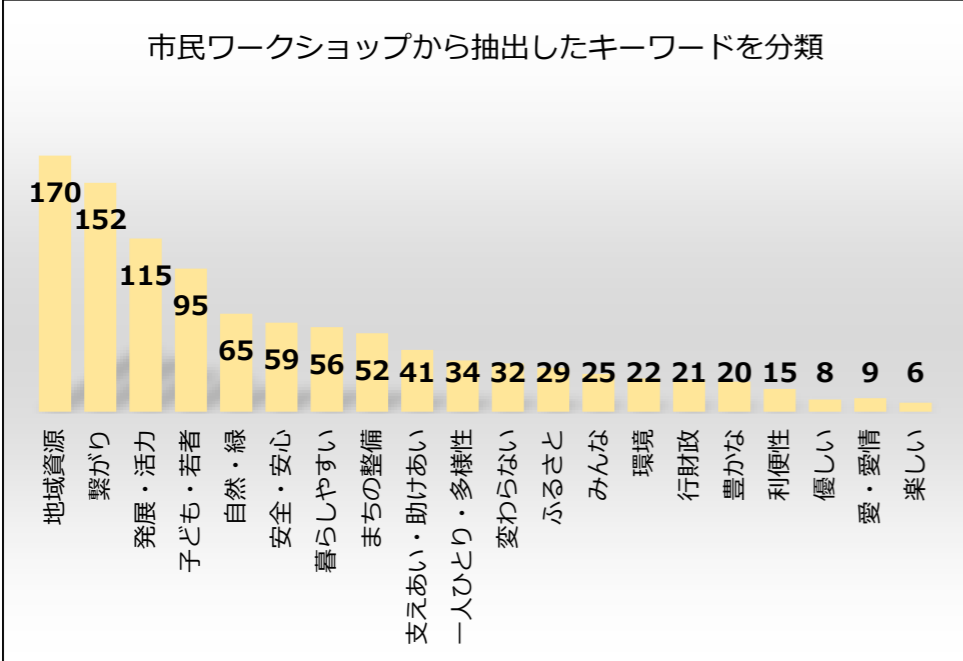
昭和46(1971)年度～昭和60(1985)年度
「みどりゆたかな住宅都市をめざして」

昭和61(1986)年度～平成17(2005)年度
「緑と活力のあるふれあいのまちこだいら」
～新しいふるさとづくりをめざして～

平成18(2006)年度～令和2(2020)年度
「躍動をかたちに進化するまちこだいら」
～緑と住みやすさを大切にさらに自立し活力あるまちの実現を目指します～



市民の考える小平市の将来の姿



■全4回の市民ワークショップのまとめとして、各グループで考案した小平市の将来の姿を表すキャッチフレーズ

グループ	キャッチフレーズ
A	地域のつながり、環境、働けるまちを誇りをもってPRできるまち小平
B	強い絆で結ばれた緑豊かな小平市
C	最先端で優しさあふれる田舎街「小平」!!
D	市民がつくるつながりで住みやすい小平市
E	緑豊かに子育てできる人とつながれるまち 小平
F	市民・行政が一体となり全世代がホッとする小平
G	人にやさしいプチ田舎 文化都市

・これまでの市民参加の取組(『(仮称) 小平市第四次長期総合計画策定に向けた市民参加の取組(令和元年8月末現在)』参照)で得た市民意見から、将来像にふさわしい「キーワード」を抽出し、一定のまとまりに分類しました。

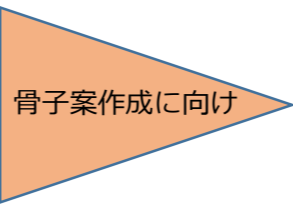
・「地域資源」には、「地域資源」という単語の他、小平市に今ある資源(文化や歴史、ブルーベリー、丸ポスト、糧うどん等)を大切にしたい想いや、外への発信(PR等)、地域資源を活かした観光や交流などに類するキーワードを分類しました。

・「繋がり」は「繋がり」という単語の他、人や地域の繋がり(自治会、近所、挨拶、お祭り、見守り等)などに類するキーワードを分類しました。

・「発展・活力」は、「発展」や「活力」という単語の他、活性化、成長、未来、技術革新、企業、大型商業施設や娯楽施設などに類するキーワードを分類しました。

・詳細な意見は『(仮称) 小平市第四次長期総合計画策定に向けた市民参加の取組(令和元年8月末現在)』に掲載しています。

～まちの将来像の検討にあたり押さえておきたいこと～
 ・基本理念に基づき、市制施行100周年(2062年)を見据えつつ、その通過点としての、12年後(2032年)にめざしていくまちの姿



・第3回審議会でご意見やご提案をお伺いし、第4回審議会「まちの将来像(案)」を複数案示します。その上で、市民意見も伺い、素案に向けて絞り込んでいきます。